

2019年
CTG

建交労道本部夏季闘争速報

No. 4 / 2019年7月3日

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL. 011(711)7377
FAX. 011(711)7388
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

第38回道本部委員会 参議院選挙勝利でアベ政治を終わらせよう たたかいと組織を前進させて大会を迎えよう

6月23日に開催した第38回道本部委員会で、2019年春闘と「春の組織拡大月間」の到達点を確認して、第21回全国大会（8月31日～9月2日）・第20回道本部大会（10月6～7日）にむけたとりくみの強化をはかり、参議院選挙闘争に全力をあげる方針を決定しました。道本部委員会には道本部委員・執行部・傍聴者30人あまりが参加しました。

道本部の森国委員長はあいさつで、JR北海道の運賃値上げ申請の不当性や、全国統一要求書にもとづく道庁との交渉などのたたかいについて述べるとともに、「麻生財務大臣が自分で諮問した審議会の答申で、公的年金では2千万円不足すると書かれているのが気に入らないからと受け取りを拒否した。《偽造・ネツゾウ・安倍シンゾウ》と言われてきたが、いまや政府全体がおかしくなっていると看做ざるを得ない。参議院選挙で勝利してアベ政治を終わらせ、私たちの要求前進と仲間を大きく増やすためにがんばろう」とよびかけました。

宮澤書記次長が「要求実現のための参議院選挙をたたかい、運動を大きく前進させ、組合員純増で全国大会・道本部大会を迎えよう」と提案し、職場でのたたかいや建設現場でのとりくみ、「相談会」などについての報告と参議院選挙闘争について6人が発言しました。

函館で学童保育支援員学習会

6月20日、函館市内の学童保育指導員（支援員）を対象に学習会を開催し、14名の支援員（うち7人が組合未加入者）が参加しました。この学習会の成功をめざして函館支部学童保育分会の組合員が計画を立てて参加を働きかけた結果、これまでの集会では最も多い支援員の参加になりました。学習会では、分会の役員が講師となって全国部会の学童保育政策を読み返しながらかみながら学習するとともに、意見交流では職員募集をかけても希望者が来ないという人手不足の状況や、利用者（父母）との対応について経験交流を深めました。交流の中では、学童保育分会が函館市に提出した要望書に基づく対市交渉や昨年おこなったキャラバンで市の担当者との意見交換など、建交労の運動によって6月議会で補正予算が生まれ、支援員の処遇改善が前進したことも紹介されました。

組合未加入の支援員には「組合員が増えれば更に要求は前進し、利用者と支援員が望む学童保育が実現できる」と組合加入を訴えました。この日は組合への加入者はいませんでした。粘り強く繋がりを追求して12月の分会大会までには多くの組合員を迎えて開催することをめざして、学習会に職場の問題を持ち寄り、一人で悩まずみんなで解決をめざそうと、次回の学習会への呼びかけをおこないました。

JR北海道が夏季一時金回答＝2.01 か月分

JR北海道は6月21日、北海道鉄道本部に夏季一時金の回答を示しました。回答は基準内賃金の「2.01 か月分」（前年は2.02 か月分）です。平均支給額は511,687円（前年516,291円）で、4月1日現在の年齢が55歳の社員に25,000円支給し、スタッフおよびシニアスタッフについては1.005 か月分（スタッフ+10,000円）、エルダースタッフは1.005 か月分+20,000円などです。